

松田町文化財に対する 考え方について



質問者
飯田 一 議員

① 文化財については地

域の人たちが守り、地域の人たちにより受け継がれ、保存活動がされていると思うが、当町に有形、無形あわせて町指定文化財はどれくらいあるのか。

② 文化財の所似、由来

等の説明、紹介等ほどのようにされているのか。

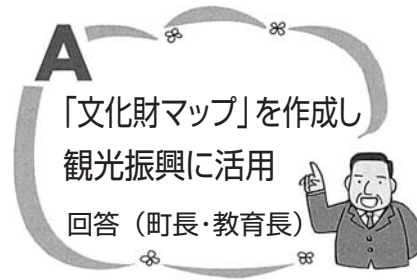
③ 文化財の修復・修理

等について、町の補助金等助成はどのように行われるのか。

④ 当町は、「緑と清流の

まち」を観光の中心としていますが、町の文化財も観光振興に含めれば、観光客の町内での滞留時間も長くなり、町の活性化につながる

と思うが町の考え方は、



① 有形文化財は「十一

面観音像」「松田城址」「最明寺跡」「寄神社の大杉と大銀杏」、無形文化財は「松田大名行列」、「寄祭囃子」など合計19点である。

② 現在、町文化財保護

委員会により「文化財散策マップ」の作成に取り組んでいる。松田の歴史、文化財に触れ

親しみをもって頂きたい。

③ 未永く保存し、後世

に伝えなければならず、無形文化財の大名行列や寄祭囃子には、補助金を出し継承に努めている。文化財の修繕は、膨大な金額がかかるこ

とも予想され国・県、その他による補助制度があるか、調査・研究したい。

④ 町指定の文化財以外

にも、道祖神や記念碑等予算の範囲で整備し、観光振興に結び付けていきたい。

各種ワクチンの助成と子宮頸がん予防ワクチン助成年令の引き上げをさらに手厚く！



質問者
鍵和田 貴実代 議員

子宮頸がん予防ワクチン接種費用の全額助成について、松田を担う子ども

の親から、感謝の声を聞いている。

政府は10月26日、「子

宮頸がんを引き起こすヒトパピローマウイルス」「細菌性骨髄炎の原因となるインフルエンザ菌b型」「小児用肺炎球菌」の各ワクチンを市町村が行う接種事業に対し、費用を

折半することを年度内開始の方針で補正予算案を計上した。

① 現在までの子宮頸がんワクチンを受けた人数と回数は。

② ワクチン無料化に伴

い国からの折半分の補助を高校生から成人前までに、さらに手厚くしていただけるように強く要望するが、町長のお考えは。



子宮頸がん予防ワクチン助成は、県内でいち早く全額公費負担で実施したことにより、保護者の方々からは高い評価をいただいている。

① 全体147人中、1

回目の接種は52人、2回目は17人、学年別で

は1年生45人中12人、2年生44人中13人、3年生58人中27人が接種をしている。

② 子宮頸がんの対象年

齢の拡大は、国の「感染症分科会予防接種部会」において検討されたものであり、最も適切な時期の中学1年生から3年生を対象としている現在の要綱を改正し、医師会との調整や他市町の動向も踏まえ、国の補助基準である高校1年生まで広げたい。それ以上の拡大については、今後検討したい。

